

2022 年度日本海洋学会第 4 回幹事会議事録

日時: 2022 年 11 月 22 日 (水) 14:00~17:00

場所: Zoom を利用したオンライン開催

出席者: 神田会長、伊藤副会長、梅澤、江淵、岡、乙坂、帰山、川合、高橋、土井、中野、野口、吉田、事務局(毎日学術フォーラム: 平坂、米岡)

議題

1. 議事録確認(中野幹事)

2022 年度第 3 回幹事会の議事録が確認され、承認された。

2022 年度秋季評議員大会の議事録が確認され、承認された。

2. 審議事項

(1) 入退会について(乙坂幹事)

2022 年 8 月から 9 月の入会者(16 名)と退会者(2 名)が承認された。2022 年 5 月末時点の会員数は、1438 名。

(2) 後援・共催等の依頼(乙坂幹事)

後援・共催等について 6 件の依頼があり、承認された。

(3) 公募・推薦の依頼 (乙坂幹事)

公募・推薦の依頼について 10 件の依頼があり、承認された。

(4) 会費未納者リストについて(乙坂幹事)

会費未納者(1~3 年)について確認し、昨年度効果があった会費の納付についての声かけを行うこととした。

(5) 次期 JO 編集員 (江淵幹事)

次期 JO 編集委員長候補として齊藤 宏明 会員 (東京大学大気海洋研究所) の提案があり、承認された。

(6) 研究発表 (土井幹事)

2023 年度春季大会 (JpGU2023 において開催) において、日本海洋学会の学協会セッションとしての申請が 25 件あることが報告され、承認された。

(7) 学術の中長期戦略公募への応募について(神田会長)

中長期研究戦略公募への申請課題の提案があり、承認された。申請書類の作成については会長を中心に進めることが承認された。

3. 報告事項

(1) 学会事務局担当変更について(事務局)

海洋学会事務局担当の変更の報告があった。

(2) 庶務(乙坂幹事)

2022 年 12 月~2023 年 1 月の幹事会のスケジュールを確認した。

法人化と会則改正に関する会員からの意見募集を、ウェブアンケートで実施するとの報

告があった。

(3) 研究報告(土井幹事)

2023年の秋季大会は京都大学で準備が進められており、スケジュールの報告があった。
2024年度秋季大会については、水産研究・教育機構水産資源研究所に内諾いただいたとの報告があった。

(4) 選挙報告(中野幹事)

Web選挙についての途中経過の報告があった。また、幹事・賞選考委員半数改選・各賞可否投票については郵送にて行うとの報告があった。

(5) 編集

(ア)JO(江淵編集委員長)

JO Vol 76(1)-78(6)の発行状況、投稿・受理状況について報告された。

特別セッションについての掲載、受付状況についても報告された。

(イ)海の研究(吉田編集委員長)

第31巻4-5合併号が2022/9/15に出版されたこと、投稿論文状況が報告された。

(ウ)ニュースレター(神田会長)

12-3が発行されたとの報告があった。

(6) 広報(川合幹事)

若手研究者にたいして海洋学会員になることのメリットをホームページでわかりやすく提示する予定であるので、提案等をお願いしたいとの報告があった。

(7) 海洋観測ガイドライン編集委員会(乙坂幹事)

第5版の編集を進めているとの報告があった。10/5, 19 IOC/IODEのOcean Best Practices Workshop IVにおいて日本の取り組みとして海洋観測ガイドラインの紹介があったとの報告があった。

(8) 海洋環境委員会(梅澤幹事)

青い海助成事業で2022年3月終了の3件について成果報告を行ったとの報告があった。

(9) 教育問題研究会(川合幹事)

海のサイエンスカフェが9月11日に森岡会員の話題提供で行われたの報告があった。

11月5、6日にサイエンスアゴラに出展したとの報告があった。

(10) 海洋生物研究会(高橋幹事)

評議員会にて会長が長崎大の近藤会員に交代することが承認された。運営委員会委員の2/3が交代した。また、3月のシンポジウムの準備が進んでいるとの報告があった。

JpGUにおける生物分野の連携についての意見交換を行ったとの報告があった。

(11) 日本海洋科学振興財団(伊藤副会長)

海外渡航援助の募集が行われているとの報告があった。

(12)男女共同参画(野口幹事)

男女共同参画学協会連絡会第20期第3回運営委員会が2022年8月22日に開催された

との報告があった。

男女共同参画学協会連絡会シンポジウム(2022年10月8日)に参加したとの報告があった。

「Inclusion 海かふえ」を2022年10月18日に開催したとの報告があった。

(13)水産・海洋科学研究連絡協議会(伊藤副会長)

日本学術会議水産分科会のシンポジウム「水産からカーボンニュートラルの未来を展望する」が11月25日にオンライン開催予定であることが報告された。

第2回水産・海洋科学研究連絡協議会が12月9日に開催予定であることが報告された。

(14)防災学術連携体(中野幹事)

環境災害対応委員会が開かれ、会長の変更等があったとの連絡があった。

(15)若手支援(伊藤副会長)

若手研究集会の報告が2件(若手会夏の学校、海を越えた本読み会)あったとの報告があった。

(16)リクルート戦略WG(梅澤幹事)

大学進路相談において一月に一通ほど問い合わせがあり2件について返答をホームページに掲載したとの報告があった。

(17)海洋環境の事典編集委員会(伊藤副会長)

編集会議(2022/9/15, 10/13)、メール会議(11/2)、Co-design 関係者会議(11/17)についての報告があった。

以上